

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	良く なっている	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年同月比で来客数が106%、売上が109%と販売量や買上点数が伸びている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・戸建住宅の消費税増税前の駆け込み需要が本格化しており、通常月の1.5倍近い動きがみられる。あわせて、店舗、一般建築、太陽光発電等も以前より活発に動いている。
	やや良く なっている	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・太陽光発電のリフォーム関連は順調である。一般商材もエアコン等は伸びたので今月は割合良い。
		スーパー（商品部担当）	お客様の様子	・イベント時も含め買上個数などに変化が出てきている。また、観光地など好調のように思える。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・気温が高いためにドリンク等の購入客数が増え、売上が伸びている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・2～3か月前と比べると良くはなっているが、前年比でみると7%も落ち込んでいる。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・例年夏場、特に8月はコンビニの売上は伸びる状況にあるが、今年は連日35度を超えるような猛暑の中で、アイスクリーム、飲料水、ビールといったものが割と伸びており、良くなっている。
		乗用車販売店（統括）	競争相手の様子	・来月発表される新型車の予約がそれなりに入っている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・前月悪かった分の反動が、8月終わりの来客数並びに販売量がやや多く、例年になく8月が良かった。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・季節変動を除いても、客1人当たりの買上点数、客単価の上昇が見て取れるようになってきた。生活必需品だけでなく、付加価値商品や趣味品への購買意欲が高まっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・売上だけみた場合は近年になく良い。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・厳しい状況なのは変わらないが、客数がいくらか回復しているように思う。原価率が上がっているので多少の回復では合わないが、上向いてきているのなら、もう少し頑張ってみようという気になる。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・8月は年間で最も来客数が多い月となる。今年はお盆の日並びも良く、来客数が伸びた。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・今夏は少雨で猛暑続きであった影響で、避暑に訪れる客が増えた。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・猛暑の中、髪をカットする客が増えているが、単価は上がっていない。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・別荘訪問者数がやや増加している。
	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・来年4月からの消費税増税の影響で、需要の先食いが目立つ。建物の消費税は金額が大きいため検討する顧客が多くなってきている。住宅ローンの金利上昇も影響していると思われる。	
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まって、これから各学校で体育祭や運動会があるので、店頭販売も前年同様にいくらか忙しくなる。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・地域の花火大会は盛況であった。また、各町内ごとの納涼祭もなんとか行われている。ただし、ガソリンの値上がりで出掛けるのを控え目にする人が多くなってきた。その分消費が増えればよいと思うが、こちらも控え目である。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・猛暑の影響でエアコン等の売上は良かったが、これも必要に迫られての購入であり、消費者の購入意欲が出てきたわけではない。相変わらず消費には慎重さがみられる。
百貨店（販売促進担当）		販売量の動き	・一部初秋商材の動きがみられるものの、客の目線は依然お買得品に向いている。正価品の落ち込みをセール品でカバーしている状況であり、価格に対しシビアな状況は以前と変わらない。	
百貨店（販売促進担当）		単価の動き	・下旬まで気温の高い日が続き、大きく来客数が落ちた。各商品群とも低調だが、客単価はあまり変わっていないため、3か月前と比べても変わらない。	
百貨店（店長）		お客様の様子	・一部高額品は売れているが、全体的にみるとあまり変わらない。衣料のパーゲン品は50%オフを超えるまで買い控えがある。気温の変動により秋物の動きが厳しい。	

百貨店（店長）	販売量の動き	・前年に比べれば良くなっているが、ここ数か月はあまり変わらない。都内のように高額品が特別売れているわけではない。
百貨店（店長）	お客様の様子	・セールの商品であっても、必要以上に無駄な買物をしないという姿勢が客の動きに顕著にみえるということからの判断である。
スーパー（店長）	単価の動き	・数か月間、客単価の変化がない。
スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は好調であるが、1点当たりの単価が上がらないため、前年をクリアするのが厳しい状況である。仕入価格が上がっているが、売価への転嫁もできないため、利益面も厳しい。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・前年度の売上数値と比較しても、ほとんど変わらない状況である。
スーパー（経営企画担当）	単価の動き	・お盆商戦は前年並みの売上を確保できたが、その後は悪天候の影響もあり、来客数が落ち込み前年の売上に届かなかった。ただ、1品単価は前年を上回るようになってきている。
スーパー（統括）	単価の動き	・猛暑が続き、アイスクリーム、カキ氷は前年比112%で、特に、プレミアムアイスは121%と大きく伸びている。ビール、発泡酒も109%で、プレミアムビールが115%の伸びを示し、「ちょっといいもの」の動きが良い。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・随分暑かったこともあり、水物やアイスクリームなどは大分伸びたが、一般的な物がなかなか出なかったため相殺したような形で、トータルでは大きな変化がないような状態である。
衣料品専門店（経営者）	それ以外	・商品を買いたいと思っている人が少なくなってきた。
家電量販店（店長）	単価の動き	・前年と比べ、主要な商品の単価が上がっている。テレビに関しては、ようやく金額で100%をクリアしている。猛暑のおかげでエアコンや扇風機などの夏物商材が健闘し、8月は良くなっている。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・当社では新車の販売台数が落ち始めた。しかし車検台数は増えているので、売上高は減少しているものの、粗利益としては横ばいという感じである。ただし、ディーラー以外の同業他社からはあまり良い話は聞かない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・売上台数は増え、前年比104.7%である。売上は増えているものの、依然コンパクトカーの販売で収益は低く、非常に厳しい状況は変わらない。
乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・アベノミクスによる円安は安定しているが、輸入品の値上がりにより購買意欲は低下している。また、消費税増税の報道により、住宅メーカーは受注が順調に伸びてきている、これも一時的な傾向といえる。
乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・いまだに客足が鈍い。
住関連専門店（店長）	来客数の動き	・販売量は前年を上回っているが、来客数は前年を下回っている状況である。
住関連専門店（仕入担当）	単価の動き	・販売数、単価とも悪い方向に向かっている。生活用品については前月の販売不振から各社による販促が活発化し、低価格販売が増えている。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・この3か月間、来客数も客単価もほぼ変わらず、売上も大体横ばいの状態が続いている。売上が増加するような兆候はない。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・上向き業種、下向き業種の差が出てきているようだが、消費税増税の影響は多方面にわたり出てくると思われ、大手ではない一般サービス業や飲食業にはかなり悪影響が及ぶように思われる。
スナック（経営者）	競争相手の様子	・アベノミクスの効果がどこまで届いているのか、この末端では見えない状況である。競争相手もますます増えている。
都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・先の予約状況が悪いまま変わらない。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・来客数の動きとしては前年とほとんど変わらない状況であるが、やはりお盆になると宿泊客、宴会関係共にやや落ち込んで、頭が痛いところである。
都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・ビジネス系のホテルであるが、客室の稼働については、お盆や夏休みの連休の関係で多少下がったものの、おおむね3か月前と変わらない状況である。

旅行代理店（所長）	来客数の動き	・円安基調のため、外国人の来訪者が目立つが、逆に日本人が減少傾向にある。猛暑のため海へ行ったり、あるいは世界遺産関連で東海エリアにシフトしたのかと思っている。	
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・昨年よりも夏休みのグループ旅行や家族旅行の相談、受注が少ない。来客数はあまり変わらない。客に迷いがあるのか、相談や受注のタイミングが遅く、相談を受けた時点で既に手配が不可能な商品も見受けられる。	
旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・夏の旅行シーズンを迎えたが、猛暑の影響なのか、期待したほど売上が伸びていない。	
タクシー（経営者）	お客様の様子	・人の動きが鈍く、タクシーを利用する人も少なく、前年同月比で8%の減少である。	
通信会社（経営者）	お客様の様子	・解約、休止は減少しつつあるが、新規加入にはまだまだである。	
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・夏季休暇の影響も落ち着き、景気回復への期待感は続くものの、消費税増税の不安から現状維持が続く。	
通信会社（局長）	お客様の様子	・季節要因により販売数量は減少しているが、これを除外しても、客の様子を見る限り、3か月前と比較して消費行動がやや鈍化している。夏季休暇で他に出費がかさみ、その反動なのかもしれない。	
ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・イベントの参加者や飲食店のコンペが増加してきた。ただ、今年は猛暑と少雨のため、散水作業が多く、電気使用量も増加したことから経費が非常に増えている。	
競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購入単価共にほとんど変化がみられない。	
その他レジャー施設【アミューズメント】（職員）	来客数の動き	・特に変化があるようには感じられない。	
美容室（経営者）	来客数の動き	・暑い日は来客数が極端に少なくなる。その分、他の日に来店するかということではないので、売上は伸びない。	
その他サービス【イベント企画】（職員）	お客様の様子	・燃料費の高騰等で出控えているためか、人の流れは変わらない。	
設計事務所（所長）	来客数の動き	・相変わらず先月と同じ状況で、9月内契約がもはや困難ということからか、新規情報はほとんどない。	
住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・今月は特にこれといった進展はない。周りの空気もなんとなく沈滞している感じである。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・前月から続く猛暑が街中への入出を止めてしまっている。パーゲンになっても、どうしても必要という物でない限り、売上は伸びない。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・今年の8月は驚くほど悪い。来客もなく、品物も売れない、売上も最低である。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数は前年同月比で減少しているが、客単価が微増ではあるが7%ほどの微増となっている。
	一般小売店【青果】（店長）	販売量の動き	・例年、お盆は少しずつ売れなくなっているが、今年のお盆ほど果物が売れなかったことは初めてである。暑さで水物に動いているのかもしれないが、市場で聞いても今年は果物が本当に売れなかったようだ。
	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・季節商材は好調に推移したが、映像商品の動きが依然回復していない。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型車の受注が始まっているが、発売が9月のため、今月の商売にはつながっていない。
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・6、7月は天気が良く、客が海や山に行ってしまう、販売量が落ち込んでいた。ただし、修理関係はかなり増えているので、全体としてはさほど大きな落ち込みもなく、売上としても落ち込んでいない。その2～3か月前と比べると、販売量がやや減っており、少し悪くなっている感じがしている。
	高級レストラン（店長）	販売量の動き	・月の前半からお盆までは前年を多少上回るペースだったが、お盆が終わってから集客、売上共に激減し、結局前年同月比で20%近く落ち込んでいる。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・毎年夏場は客が減少する。今年は特に宴会関係が激減している。
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・今年は猛暑の影響でガスの使用量が減っている。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・東日本大震災後、学生団体の減少が止まらない。

		遊園地（職員）	来客数の動き	・猛暑や週末の雨天の影響で、3か月前と比べ来客数の動きは鈍くなっている。
		ゴルフ場（業務担当）	販売量の動き	・天候の影響で今月は入場者が大分少なくなっている。ただ、天候要因なので景気との関係がどうかというのは不明なところもある。
		その他サービス 〔立体駐車場〕 （従業員）	来客数の動き	・天候不順の場合、通常は来客数が増えるところだが、今月は逆に減っている。そのため販売量、売上も減少しており、悪くなっている。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・何物件が重なっていた物件も落ち着いてきて、余裕が出てきている。
悪くなっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・この夏は猛暑で駅前商店街の人通りは閑散とし、大型店に向かう車で道路は渋滞している。トップシーズンにもかかわらず、最悪の状況である。
		スーパー（経営者）	競争相手の様子	・完全なオーバーストア状態が続いている。食品スーパーに限って、大手スーパーの低価格戦略が更なるデフレ要因になってくると感じている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・月後半に暑い日が多く、来客数が極端に減少した。また、初秋物、夏物処分、どちらの動きも悪い。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・8月は季節の変わり目で、夏物が終わって秋物が立ち上がる切替え時期のため、例年かなり売上が落ちるのだが、今年の8月は本当に悪い。猛暑もそうだが、何より家計を直撃するような身近な物での値上がりが多すぎるからか、来店客が極端に少なくなっている。通常であれば来店客と話をしてその様子からうかがえるものがあるが、それ以前の問題になってきている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・6、7月と比べると売上の伸びが落ちている。また、来客数も減少している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・例年2月と8月は、仕事の少ない月だが、特に今年は、異常なぐらいタクシーを利用する客が少ない。町の中も人通りがなく、お盆の後の日曜日などは、朝から仕事しても売上が5千円にならない同業者が多数いた。駅から降りてきても、自家用車の迎えが多く、タクシーに乗らない。会社存続の危機である。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・一般企業、商店、団体など、当社の得意先から例年ある受注は、東日本大震災以来、ほとんどが差し止めになっている。
企業動向関連 (北関東)	良くなっている	その他製造業 〔環境機器〕 （経営者）	受注量や販売量の動き	・太陽光発電関連で、バブル期に似た動きがあり、高額な見積書が飛び交っている。現在、太陽光発電関連においては景気はかなり良いと思える。
	やや良くなっている	食料品製造業 （営業統括）	受注量や販売量の動き	・8月に入り、猛暑日が16日も続いた影響で、ワインより他の酒類への移行がみられ、伸び悩んだ。
		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・国土交通省による労務単価引き上げの影響か、同じ工事でも利益率が良くなっているように感じる。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・建設業の受注増加や非製造業で業況感の改善がみられるためである。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・営業エリア内に富士山の世界遺産の構成要素が多くあるためか、前年と比べ客足が伸びている。
		金融業（役員）	受注量や販売量の動き	・建設業の公共工事や住宅関連、自動車関連の下請等の受注は増加しているものの、それ以外の業種は依然低迷している。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・例年少し落ち込む8月だが、今年はやや例外的に落ち込みもないため、やや良くなっている。
変わらない	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・仕入原材料の値上がり分を製品価格に転嫁しようと努力しているが、販売先との交渉が難航している。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏体験型イベント参加で一時的に集客はあったものの、状況は相変わらずの低迷している。	
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・まだまだ全体的な動きが鈍く、前年同月比で1～2割の減少が続いている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の50年目の決算は11年ぶりの赤字決算となってしまった。非常に厳しい状況である。しかしながら、ここきて仕事の話がぼつぼつ出てきているので、もしかしたら2～3か月後には回復するかという気がしている。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・7～9月と試作品の特需があり、この2～3か月はやや良くなっている。	
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・暑さが続き、エアコンや扇風機など、家電の物量は前年を上回っている状況であるが、円安や産出国エジプト等の政情不安により、原油高による燃料コストの負担が大きくなり、利益が薄くなっている。	

	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・雨などによる災害もなく、暑い夏で、夏物の売行きは好調だと聞いている。また、7月に新規開店した家電量販店に対抗した同業者及び周辺店が活気づいており、チラシ出稿量は103.1%となっている。	
	経営コンサルタント	それ以外	・街中の人出や人の流れ、一般主要道や生活道路の車の通行状況、沿道の商店や施設を訪れる人の流れ、主だった観光スポットなどの人出などに例年並みの動きが見え始めているが、まだ全体的な傾向とは思えない。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・外出する人は増えているが、遠出するのだけで手一杯で、あれこれ現地でお金を使う余力はまだ無いようで、売上が伸びる状況ではない。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・上半期末に向けて受注量が増え、収益の改善が進んでいるが、一時的な現象と思われる。	
やや悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	それ以外	・販売数量はほぼ横ばいだが、原材料価格を含め、経費が上がっているため内容は厳しくなっている。	
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注件数が1割くらい減っている。	
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・低調に推移している。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注も少なく、厳しさは変わらない。特に、光学関係の企業が厳しい状況だと聞いている。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量はそこそこ確保されているが、燃料価格の高騰など、もろもろのコストが上昇傾向にあるため、収益は非常に厳しくなっている。例年8月はメーカーが生産調整するので、9月以降に期待している。	
	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事は現政権のもと、必要な社会資本維持管理・更新が重要視されてきているが、地方まで実施されるには時間がかかる。民間工事については、新規物件がなく修繕工事だけである。受注高は前年比8%減で、営業に力を注いでいるが即効性がないのも現状である。	
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注額が下がったままで、上げることができない状態が続いている。	
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・今月に取引先数か所で業務の発注見直しがあり、今まで受けていた管理、保守作業がなくなってしまった。その分だけ年間の売上が減少してしまっている。	
悪くなっている	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・夏の販促は例年通り減少した。ゴールデンウィーク後からの減少が著しい。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月に2回の新作発表展示会を行ったが、どちらも来客数が大幅に減少しており、景気回復への道筋は見えない。売上は前年比マイナス傾向が続いている。また、円安のため、輸入材料の価格が高止まりしていることが商品開発を難しくしている。	
雇用関連 (北関東)	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・夏休み期間中ということもあり、夏物衣料、レジャー施設等の利用はかなり増えたようである。製造業等では住宅は横ばいと思われるが、増改築や施設の改善等での設備投資が若干出ている。携帯ではスマートフォン等の部品製造も、求人募集の内容からして多いようである。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・お盆明け以降、何社からも募集がきており、当社の仕事としては良くなっている。
		人材派遣会社（管理担当）	採用者数の動き	・携帯電話関連の派遣社員採用人数が増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は増加しているが、製造業は減少傾向にある。鉄鋼などの副資材や主材料、電気、油関係の価格がじわじわと上がってきているが、製品に転嫁できず、収益を圧迫している。運送業は仕事が増えてきているが、燃料費の値上げで収益は厳しい。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・業種により違いはあるが、全体的には求人数は増加し、求職者は減少傾向にあり、求人倍率も上昇していることから、景気は上向き傾向にある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・建設業での求人増、製造業での人材確保の動きがある。景気回復に対する期待感が高い。

変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・アベノミクス効果も周辺企業には現在反映されていない。最近も建設関係で2社が倒産しており、まだまだ景気は良くなっていない。求人についても、8月は季節的にサービス業等の短期パート、アルバイトの募集が2～3か月前よりは多少あったものの、正社員募集は少ない状況である。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・5～7月の新規求人数は前年同月比で0.9%減少にとどまっている。一方、新規求職者は同6.6%増である。前月も報告したが、官内主要企業及びその関連企業で12月から3月にかけて早期退職を実施、その後、4～6月にかけてさらに追加で実施した影響で、求職者が増加している。新規求職者数は前年同月比で4月が7.5%、5月が6.4%、6月が2.6%増加しており、7月も10.9%増と依然厳しい状況である。
	学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・求人の増えた職種と、ここ数年求人数が変わらない職種にばらつきが出てきている。求人数の状況を見る限り、景気が上向きであるとは思えない。
やや悪くなっている			
悪くなっている	-	-	-